

光市記者発表資料

平成28年 9月14日

件名

ニジガハマギクの定植について

内容

1. 目的

光市立浅江小学校に隣接している、潮音寺山(標高62.3m)の整備を進めてきましたが、潮音寺山に自生しているニジガハマギクが減少しているため、浅江小学校の4年生(127名)の総合的な学習の時間を利用して、さし芽(6月2日実施)を実施しました。その後、根付いて大きくなりましたので、定植を行います。また、はじめに体育館にてニジガハマギクの歌の発表も行う予定です。

2. 日時

平成28年10月6日(木) 10:30~11:15(小雨決行)

3. 場所・方法

光市立浅江小学校 校門左手の池の裏側付近(定植)

直径約15cmの穴をほり、肥料を入れてビニールポット(黒色・直径約10cm)から苗を取り出し定植する。(ポット数約110個)

4. 指導者

潮音寺山里山づくり推進部 部員及びコミュニティ協議会役員、浅江小学校PTA

5. ニジガハマギクの由来について

昭和7年に牧野富太郎博士の発表による。

命名は、ニジガハマに自生することから。

昭和15年に光海軍工廠ができ、光駅と改名されたが、それまでは虹ヶ浜駅とよばれていたように、当時は、ニジガハマの地名は、今より一般的だったと思われる。

美しい地名がついたノギクなので、各地からわざわざ光を訪れる山野草の愛好家もおられます。

6. 実施主体

浅江地区コミュニティ協議会

潮音寺山里山づくり推進部 部長 山本 洋治 (やまもとようじ)

問合せ

・浅江コミュニティセンター (主任 兼崎 人士)

電話 0833-72-1438

・潮音寺山里山づくり推進部 部長 山本 洋治